

答申の内容

構想の内容

構想策定上の視点

- 可能性に挑戦するために必要となる力の育成
- 地域社会の持続的な発展を牽引する多様な力の育成
- 誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネット
- 教育推進のための基盤の整備

構想策定上の視点

- 可能性に挑戦するために必要となる力の育成
- 地域社会の持続的な発展を牽引する多様な力の育成
- 誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネット
- 教育推進のための基盤の整備

高等学校のあり方

- 適正規模 160～320人（1学年）
- 地域における高等学校のあり方
 - ▶ 再編の検討には地域の実情等を考慮
 - ▶ 県外募集の実施
- 公私のあり方
 - ▶ 公私両輪で高校教育振興
 - ▶ 長期的視点と安定性を備えた公立高校収容定員策定方法

学校のあり方

- 高等学校の適正規模は1学年160～320人
- 地域における学校のあり方
 - ▶ 地域の実情や地域のニーズに配慮
 - ▶ 職業学科は全県的バランスを考慮
- 公私のあり方
 - ▶ 長期的な視点で学校づくりを推進
 - ▶ 公立高校においては幅広い高校教育機会の確保や地域経済を支える人材の育成等、私立高校においては建学の精神に基づく多様な人材の育成や進路、独自の取り組みなどそれぞれの役割や特徴を踏まえ、協調しながら教育振興

入学者選抜制度

- 全県一学区制度の維持
 - ▶ 主体的な学校選択の促進
- 前期募集制度の維持
 - ▶ 複数の受検機会の保証

入学者選抜制度

- 全県一学区制度の維持
- 前期・後期・再募集制度の維持

グローバル化への対応

- 外国籍生徒の受け入れ・フォロー体制の整備
 - ▶ カウンセラー等のフォロー体制の整備
 - ▶ 就学の補助・助成制度の理解促進の取組
- 日本語が苦手な生徒の支援体制の整備
 - ▶ 高校進学へつなげる対応
 - ▶ 大学等とも連携したサポート
- 多文化共生に理解のある生徒の育成
 - ▶ 外国人とともに暮らす社会の担い手の育成
- 将来のグローバルリーダーの育成
 - ▶ 探究的活動等の教育展開や企業と連携した人材育成

グローバル化への対応

- 生徒の国際理解や国際競争力の向上
 - ▶ 第2外国語学習機会の充実
 - ▶ 外国籍生徒たちと交流できる環境の充実
 - ▶ ICTを活用した外国の生徒等の交流
- 外国籍生徒の受入体制整備
 - ▶ 外国籍枠・海外帰国生徒枠を持つ学校の設定
 - ▶ 大学等と連携・交流しながらサポート
- 外国籍生徒向けコースの検討
 - ▶ 日本語の習得や日本文化への理解の促進

人材の育成

将来のイノベーションリーダー・グローバルリーダーの育成

- 探究的活動の推進
- 大学・大学院等の高等教育機関進学を意識した教育
- 日本を牽引する人材として必要な知識能力の育成
 - ▶ AI、ロボットなど、論理的思考力、課題探究力などの育成
 - ▶ 大学等の教育機関と連携した教育
- 6年間の中高一貫教育の活用
 - ▶ リーダーとしての責任感の醸成
 - ▶ 継続性の高いキャリア教育
- 学科等の教育内容の明確化
 - ▶ 将来学びたい方向に照らした確信を持てる学科選択の促進

地域経済を支える産業人材の育成

- 産業のトータルな知識・技術の修得、学科横断的学習の展開
 - ▶ 学科の垣根を超えた横断的な学習機会の提供
 - ▶ 産業間の連携を図るような幅広い実践的知識・技術を有する人材の育成
- 産業界と連携した授業
 - ▶ インターンシップや産業界の講師による授業
 - ▶ ものづくりへの興味を高めるための取組
- 人間力の育成
 - ▶ コミュニケーション能力などの人間力を高める教育

将来のイノベーションリーダー・グローバルリーダーの育成

- 大学等と連携した学習
 - ▶ 大学での学びに触れることによる具体的な将来像を思い描きながらの学習
- 日本社会におけるイノベーションを牽引するためのAI、ロボット等先端科学技術の学習
- 先進的な理数教育や探究的活動の展開
 - ▶ 効果的な進路実現と上級学校との連携・接続
- 論理的思考力、課題探求力等の養成による日本を牽引するために必要な知識・能力の向上
- 時代を先取りした専門教育学科、普通科コースの設置・改編と学科等における教育内容の明確化
- 中高一貫教育の活用検討

地域産業を支える産業人材の育成

- 地域社会を支えるローカルリーダーの育成
- 時代の要請に合わせた学科改編
- インターンシップや講師派遣など県内産業界と連携し、地域経済を具体的・直接的に学ぶ機会を充実
- デュアルシステム等による実践的な技術の修得
- ものづくりについての興味を高めるなど、地域の特色を活かす学校設定科目の開講
- キャリア教育の推進及び地域社会へ貢献する意識の醸成
- 産業構造の変化にも対応できる視野や課題解決力等を養成するための学科横断型学習の展開
- 高い実践的な技術を有する人材の育成
- 工業高校本科と専攻科を通じた5年一貫の職業教育の展開

人材の育成

多様な分野の人材の育成

- 生徒や社会のニーズを踏まえた学科等の展開
 - ▶ 中長期的な観点から学科や総合学科の系列等の対応
- 普通科へ多様なコース設置
 - ▶ 福祉・看護系などのキャリアを視野に入れたコース設置
- 地域社会・地域産業を支えるリーダーの育成

多様なニーズへの対応

- 定時制の多部制・三修制の維持と制度の周知
 - ▶ 多様な学びの機会の確保
 - ▶ 生徒等への周知と幅広い活用の促進
- 通信制におけるさまざまな学び方の展開
 - ▶ 通って学びたいなど、さまざまな学びのニーズへの対応
 - ▶ ICT端末の活用等多様な学び方
- 不登校生徒等の高校への接続対策
 - ▶ 不登校生徒等を高校進学につなげる取組

中高一貫教育

- 併設型・中等教育学校の設置の検討
 - ▶ 設置前提ではなくメリット・デメリットを十分に検討
 - ▶ 交通の便、進学ニーズ、地域活性化などさまざまな視点から検討
 - ▶ 学習における生徒のサポートや教員の異動等により教育方針が変わらない仕組みの検討
- 連携型の導入成果等の検証

多様な人材の育成

- 時代や地域のニーズの反映
 - ▶ 福祉や看護等、長期的・総合的な視点から専門性が高い人材育成に必要な学科の設置・改編
- 地域を支えるローカルリーダーの育成
- 普通科コースの多様化
 - ▶ さまざまなキャリアパスや就職を見据えたコースやローカルリーダーの育成を見据えたコースの設置
 - ▶ 1校に複数のコース設置可など運用の柔軟化
- 各高校、各学科における特色化の推進

多様なニーズへの対応

- 不登校や複雑な家庭環境など、難しい状況を抱えている生徒の進学機会を保障するための入試制度の改善や受入体制の整備
- 発達障害等の生徒の高校進学や進学後の学習活動等への配慮等の推進
- 不登校等を経験した生徒を受け入れるコースの検討
 - ▶ 体験的学習や資格取得を通じ生きる力の育成
- 定時制・通信制の活用
 - ▶ 多部制（夜間部・昼間部など）、単位制、三修制（3年で卒業可）の維持
 - ▶ 特別な支援が必要となる生徒への通級指導の充実
 - ▶ 通信制におけるICTの活用推進によるさまざまな学び方の検討
 - ▶ 社会人の学び直しなどの学習ニーズへ対応

中高一貫教育

- 連携型の効果の検証
 - ▶ 身延高校への導入の検証
- 併設型中高一貫、中等教育学校の検討
 - ▶ さまざまな視点から中高一貫教育のあり方を研究
 - ▶ 交通の便、進学ニーズ、地域活性化の視点
 - ▶ 課題を自ら考え解決する力の養成の視点
 - ▶ 社会性や心の成長の視点

答申の内容

構想の内容

地域との連携

- コミュニティ・スクールの導入
 - ▶ 地域住民と学校・生徒を結びつけることによる地域や家庭の教育力向上
 - ▶ 福祉関連機関、産業界などと連携した地域社会のニーズ等の反映
 - ▶ 地域住民と学校の間に入り一定の役割を果たす人材の活用
- 地域人材の活用推進
 - ▶ 地域に潜在する人材の教育活動への活用

地域との連携

- 地域と連携し、地域社会へ貢献する意識の醸成
- 地域の中でローカルリーダーとして活躍できる人材の育成
- 地域活性化の拠点として協働を促進
 - ▶ 地域の魅力の向上と学校の活性化
- 地域で活躍する人材によるキャリア教育、地域への愛着醸成、歴史や文化に触れる機会づくり
- 産業界と連携した地元の産業、企業等を知る機会づくり

ICTの活用

- 積極的活用の検討
 - ▶ ICTの活用による個々の生徒に応じた質の高い教育など生徒の学習促進
 - ▶ 生徒自身が実践を重ねながら活用できるようにする取組
 - ▶ トラブル等のリスクに対応できる情報リテラシー教育の充実
- 教員の負担軽減と働き方改革への寄与
 - ▶ 学校運営上のメリットを生む活用
- 教員の知識や技術の向上
- 学校の持つ課題を解決するためのICTの活用
 - ▶ 遠隔授業（サテライト授業）などへの活用

コミュニティ・スクール

- コミュニティスクールの導入推進
 - ▶ 福祉関連機関や産業界等とも連携

ICTの活用

- ICT機器の導入と活用
 - ▶ 学校現場の課題の解決のための効果的活用の検討
 - ▶ 機器や技術の活用、遠隔教育の導入検討
- トラブル等の一定のリスクを鑑みた情報リテラシー教育の充実
- 個々の生徒に応じた質の高い学習の実現
 - ▶ 学習の自己管理・目標管理の促進、学習成果の蓄積
 - ▶ 効果的な協働学習

学校経営

- 長期的ビジョンとPDCAサイクルによる学校の経営
- 社会が求める学校づくりの推進
 - ▶ 社会への訴求力が発揮され、その学校の生徒を社会が求めている学校づくり
 - ▶ 他県からも進学を喚起できる学校づくり
- 地域、産業界等との連携・協働
 - ▶ キャリア教育、地域への愛着の醸成、地域の歴史や文化に触れる機会づくり

学校運営

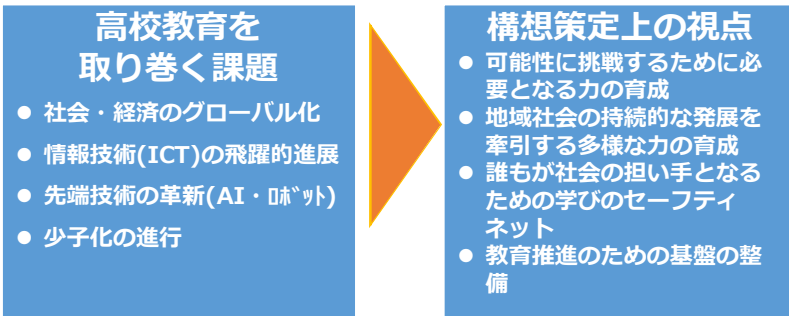
- コミュニティ・スクールの導入推進
- 地域人材の活用と地域に開かれた学校づくりの推進
- 将来にわたり学校を運営していくための学校経営計画の策定
- 「チームとしての学校」の推進
 - ▶ 校長のマネジメントによる組織運営体制の整備と運営の合理化
- ICTを活用した教員の負担軽減

全国から生徒の募集

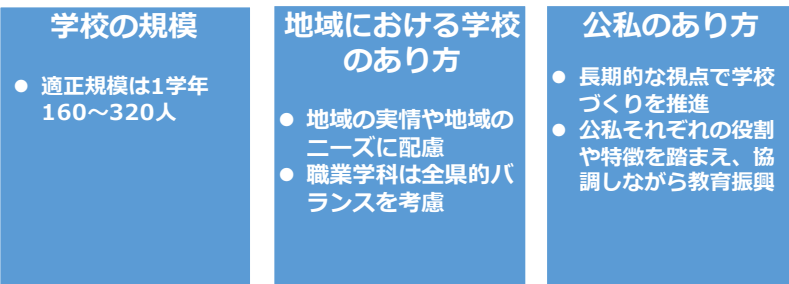
- 全国から生徒の募集
 - 4つの視点から生徒の全国募集を導入
 - ▶ 学校の活性化
 - ▶ 地域の活性化
 - ▶ 教育効果の向上
 - ▶ 産業人材の確保

1 構想策定の基本的な考え方

- 構想策定の趣旨** 生徒一人ひとりが個性や特性を生かし、諸課題の解決に向かい、たくましく未来を切り拓くことができる力を育む高校づくりの施策の方向の明確化
- 構想の位置付け** 「山梨県教育振興基本計画」に基づき、『魅力ある高校づくり』推進の指針
- 構想の期間** 令和2年度～令和11年度



2 学校のあり方



3 入学者選抜制度



4 魅力ある高校づくり

